

遮音板・吸音板取替工(全取替) 作業手順

準備工	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 成合	リスク評価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護員の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 指示書の内容確認 日常点検の実施 						
遮音板・吸音板撤去	<p>(コンクリート板・吸音板)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遮音板に吊り金物(アイボルト)を取り付ける。 固定金物を取り外しワイヤーを取り付け、クレーンで吊り上げる。(吸音板) 固定金物を取り外しワイヤーを取り付け、クレーンで吊り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車を使用する時は、アウトリガーをしっかりと張り出す。 脚立を使用する場合は、転倒防止処置をとる。 橋梁部は部品等の落下防止処置をとる。 吊り上げる遮音板に介錯ロープを取り付け、吊り荷を安定させる。 クレーンの運転は有資格者が行う。 吊り荷の下に入らない。 橋梁部やカルバート上部の内、下方道路に落下するおそれがある場合、保安員を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車が転倒する 足場から墜落しケガをする 脚立が転倒しケガをする 橋梁部は部品等が落下し事故が発生する 吊り荷が落下しケガをする 撤去材が一般車に落下し、乗員がケガをする。 	<p>5</p> <p>5</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>1</p> <p>2</p>	<p>6</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>7</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>IV</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者の配置 安全帯の確実な使用 転倒の転倒防止措置を行う 小道具入れの箱、袋等を使用する 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施 吊り荷の下には入らない 一般道に保安員を配置し、通行車・歩行者通行時は作業停止
H鋼支柱撤去	<ul style="list-style-type: none"> H鋼支柱留め金具より固定ボルトを取り外しワイヤーを取り付け、クレーンで吊り上げる。(H鋼支柱) 	<ul style="list-style-type: none"> 脚立を使用する場合は、転倒防止処置をとる。 橋梁部は部品等の落下防止処置をとる。 吊り上げる支柱に介錯ロープを取り付け、吊り荷を安定させる。 クレーンの運転は有資格者が行う。 吊り荷の下に入らない。 橋梁部やカルバート上部の内、下方道路に落下するおそれがある場合、保安員を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 脚立が転倒しケガをする 橋梁部は部品等が落下し事故が発生する 吊り荷が落下しケガをする 撤去材が一般車・歩行者に落下しケガをする。 	<p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>1</p> <p>5</p> <p>2</p>	<p>5</p> <p>7</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>6</p>	<p>III</p> <p>IV</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脚立の転倒防止措置を行う 小道具入れの箱、袋等を使用する 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施 吊り荷の下には入らない 一般道に保安員を配置し、通行車・歩行者通行時は作業停止
H鋼支柱留め金具撤去	<ul style="list-style-type: none"> H鋼支柱受け金具のアンカーボルトを取り外し支柱受け金具を撤去する。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁部やカルバート上部の内、下方道路に落下するおそれがある場合、保安員を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 	<p>4</p>	<p>2</p>	<p>6</p>	<p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般道に保安員を配置し、通行車・歩行者通行時は作業停止
H鋼支柱受け金具取り付け	<ul style="list-style-type: none"> 支柱留め金具のアンカーの削孔をおこなう。 アンカーを打込む。 H鋼支柱留め金具をクレーンでつり込みアンカーボルトに固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンマードリル等でアンカーの削孔をする際に機械が落下するおそれがある。 吊り上げる支柱に介錯ロープを取り付け、吊り荷を安定させる。 クレーンの運転は有資格者が行う。 吊り荷の下に入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 削孔片・切粉が目に入りケガをする 吊り荷が落下しケガをする 	<p>4</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>2</p> <p>3</p> <p>1</p> <p>5</p>	<p>6</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般道に保安員を配置し、通行車・歩行者通行時は作業停止 機械が落下しないよう、落下防止器具を使用する。(ロープ等) 保護メガネの着用 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施 吊り荷の下には入らない
H鋼支柱取り付け	<ul style="list-style-type: none"> H鋼支柱のアンカーの削孔をおこなう。 ハンマードリルの矢打込み棒に取替えアンカーを所定の深さまで打込む。 H鋼支柱留め金具をクレーンでつり込みアンカーボルトに固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンマードリル等でアンカーの削孔をする際に機械が落下するおそれがある。 ハンマードリルを使用し削孔をおこなう際にケガをする ハンマードリルの持ち手が回転し手首が骨折する。 吊り上げる遮音板に介錯ロープを取り付け、吊り荷を安定させる。 クレーンの運転は有資格者が行う。 吊り荷の下に入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 削孔片・切粉が目に入りケガをする ハンマードリルの持ち手が回転し手首が骨折する。 吊り荷が落下しケガをする 	<p>4</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>2</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>5</p>	<p>6</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>5</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般道に保安員を配置し、通行車・歩行者通行時は作業停止 機械が落下しないよう、落下防止器具を使用する。(ロープ等) ハンマードリル等を使用する際は補助者をつけ行う 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施
遮音板建込み	<ul style="list-style-type: none"> H鋼の中に吸音板をつり込み固定する。 落下防止ワイヤーに留め金具を通しハンマーでたたき込み固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車を使用する時は、アウトリガーをしっかりと張り出す。 吊り上げる遮音板に介錯ロープを取り付け、吊り荷を安定させる。 クレーンの運転は有資格者が行う。 脚立を使用する場合は、転倒防止処置をとる。 橋梁部は部品等の落下防止処置をとる。 橋梁部やカルバート上部の内、下方道路に落下するおそれがある場合、保安員を配置する。 吊り荷の下に入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車が転倒する 吊り荷が落下しケガをする 脚立が転倒しケガをする 作業箇所から墜落しケガをする 橋梁部は部品等が落下し事故が発生する 吊り荷が落下しケガをする 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 	<p>5</p> <p>5</p> <p>2</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p>	<p>6</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>7</p> <p>7</p> <p>6</p> <p>6</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>III</p> <p>IV</p> <p>IV</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者の配置 吊り荷の下には入らない 有資格者が行う 脚立の転倒防止措置を行う 安全帯の確実な使用 小道具入れの箱、袋等を使用する 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施
H鋼支柱転落・回転防止ワイヤー設置	<ul style="list-style-type: none"> H鋼支柱のPLIに落下・回転防止ワイヤーを通し両端部のボルト固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車を使用する時は、アウトリガーをしっかりと張り出す。 クレーンの運転は有資格者が行う。 橋梁部は部品等の落下防止処置をとる。 橋梁部やカルバート上部の内、下方道路に落下するおそれがある場合、保安員を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車が転倒する 作業箇所から墜落しケガをする 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 吊り荷が落下しケガをする 資器材・金属くずが一般車・歩行者に落下しケガをする。 	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>6</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>6</p> <p>6</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>IV</p> <p>III</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者の配置 吊り荷の下には入らない 有資格者が行う 安全帯の確実な使用 小道具入れの箱、袋等を使用する 落下防止ロープの使用 有資格者が行う 橋梁部玉掛け作業の実施
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機械、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 H鋼支柱・受け金具付近に金属くずを残さないように清掃する。 橋梁点検車の作業終了前に再度ボルトの締め忘れ等がないか確認を行う。 また、土工部は、整地する。 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 破損、散乱した部品の片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> 資器材忘れ・金属くずが落下し第三者被害が発生する。 	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>7</p> <p>6</p>	<p>6</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>6</p>	<p>III</p> <p>III</p> <p>IV</p> <p>III</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施工箇所の念入りな清掃

【注意事項】

- 橋梁点検車を使用した高所作業はフルハーネス安全帯を必ず使用する。
- 橋梁点検車のアウトリガーを張り出したままの移動は、周囲の作業員に動きを周知し、誘導員の指示に従い移動する。
- 作業に合った保護員を使用する。
- 有資格者による作業を行う。
- 橋梁点検車とクレーン車が作業の関係上近接するため、埃まれ防止の観点から、車間部は通行しないよう立入禁止処置を講じる。
- 吊り荷の下に入らない。吊り荷に介錯ロープを設置し荷が奪れないような処置を講じる。
- 橋、C-BOX上部の作業時は資器材の落下対策をおこない、監視員を設け、一般車、歩行者が通る際は、作業を中止し安全確保後に作業を再開する。
- アンカー削孔時、コンクリート内部の鉄筋とドリルが接触することにより、ハンマードリルの持ち手が思わぬ方向に回転しケガをする可能性があるため、ハンマードリルの固定補助員をつけ削孔を行う。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する」